

令和 8 年度「仙台塩釜港港湾脱炭素化推進協議会」議事概要

県では、国際拠点港湾仙台塩釜港におけるカーボンニュートラルポート（CNP）の形成に向けて、「仙台塩釜港港湾脱炭素化推進計画」に基づき、「令和 8 年度仙台塩釜港港湾脱炭素化推進協議会」を開催しました。

今回の協議会では、昨年度における温室効果ガスの排出削減に向けた各企業の実施状況や 2030 年度の短期削減目標に対する進捗状況、CNP 認証の申請概要を説明したほか、構成員および関係企業等から実施状況について、情報提供いただきました。

＜開催概要＞ ※詳細は議事資料を参照

日 時：令和 8 年 7 月 9 日（木）

午後 2 時から午後 3 時 30 分まで

場 所：仙台国際センター（WEB 参加併用）

出席者：構成員＋オブザーバー 計 38 者

（有識者、物流・港湾関係団体、立地企業、
先進企業、関係市町、経済団体、国関係機関）

議 事：

- 協議会設置要綱の変更
- 前回協議会の議事内容
- 短期削減目標に対する達成状況（フォローアップ/アンケート調査の結果）
- 港湾物流部会の開催状況
- CNP 認証の申請概要
- 構成員の実施状況

（株式会社レノバ、千代田化工建設株式会社、石油資源開発株式会社）

- 情報提供

（株式会社豊田自動織機トヨタ L&F カンパニー、株式会社鈴木商館、

トヨタ L&F 宮城株式会社、県環境生活



開催状況

＜議事に関する主な意見（要約）＞

（企 業）港湾荷役には馬力のある機械が必要である。大型機械の水素化や電動化は難易度が高いため、今後の開発に期待する。

（企 業）工場のボイラー等の効率を向上させていくことで、二酸化炭素の低減に繋がっていきたい。

（オブザーバー）「排出量取引制度（GX-ETS）」や、照明灯を LED に交換する等の取組を価値化する「J クレジット制度」等を活用してほしい。

（有識者）2030 年度の削減目標達成に向け、今後は削減の難易度が高まることが想定されることから、効果的な削減方針や戦略が必要となる。

（有識者）一つ一つの取り組みを積み上げていくことが大切であり、新技術にも期待している。